



市保連 だより

2023
(6月)

[第525号]

令和5年6月1日発行
一般社団法人熊本市保育園連盟

発行責任者 上野 誠之

調査広報委員会

委員長 今村 弘之
委員 宇治 正信 緒方 隼人
沖田 照生 角田 信也
豊田 亮

〒860-0004 熊本市中央区新町 2-4-27
熊本市健康センター新町分室 2 階
TEL(096)322-0096

感謝状授与



熊本市保育園連盟事務局長、立田山野外保育センター長を勤められた西島徹郎様が本年3月末でご退職となりました。

4月園長会においてこれまでの功績と感謝の気持ちを込めて上野理事長より感謝状が贈呈されました。

西島様、永い間当連盟にご尽力いただきありがとうございました。

アンダンテ応募作品紹介

令和5年度アンダンテの表紙デザインに4園の方より作品をいただきました。どの作品も素敵な作品でしたので、こちらで紹介させていただきます。ご協力いただきありがとうございました。



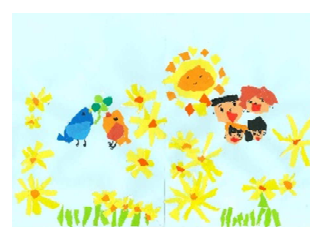
梶尾保育園



認定こども園 エンゼル保育園



藤崎台保育園



寺原保育園

豪雨による流木で作製されたジェンガの寄贈



3月臨時総会でライオンズクラブ国際協会337-E 地区の皆さんより令和2年7月豪雨の流木を活用して作製されたジェンガを当連盟にご寄贈いただきました。

高田啓也ガバナーは、「気持ちが安らぐ木の香をまとった玩具として、子どもたちの知育に役立ってくれることを願っています。」とご挨拶され、子どもたちを笑顔にしたいというこのクラブの思いがとても伝わってまいりました。

虫探し 幼保連携型認定こども園 青いほしこども園



園庭では鮮やかな緑色の木々に囲まれる中、虫捕りに夢中です。毎日のように、虫捕り網と虫カゴを大事に持って園庭を探索している姿は名人そのもの。「ダンゴムシさんは暗い所にいるんだよ！」「幼虫は土の中で寝てるよ！」と、どの虫がどんな所に居るのかまで把握しています。

また、卒園児さんが見つけて今年で4歳になるカタツムリを以上児クラスで大事に育てています。毎日給食室に「カタツムリの餌下さい！」とニンジン皮をもらいに行ったり、おやつ後にお当番さんが毎日カタツムリの部屋の掃除をしています。「水をパッパッとあげるとカタツムリさん喜ぶよ！」と日頃からカタツムリのお世話をし観察しているのでお手の物です。最初は赤ちゃんカタツ



ムリだったのにみんなで大切に育てているうちに大きくなりました。

カタツムリを大事に育てることで、命の大切さや暮らす環境を綺麗にすること、ご飯をしっかり食べたら大きくなることなど様々な事を学んでいってほしいなと思っています。

畑とともに成長 幼保連携型認定こども園 たつだ保育園



4 月後半になり、進級した新しいクラスにも慣れた様子の子ども達。毎日元気に体を動かし大好きな給食をもりもり食べています。4 月末に食育の取り組みとして園の隣にある畑に、3, 4, 5 歳児のたてわりグループで野菜の苗植えを行いました。「早く食べたいなー。」「大きくなるかな？」と野菜の成長を楽しみにしている子どもたち。これから毎日の水やりや草取りを頑張っていこうねと話をし、成長を一緒に楽しんでいます。また、年長児は毎日のお米とぎや玉ねぎの収穫、給食で使用する食材のカッティングやバケツ稲の取り



組み、クッキングなど将来に役立つ食への取り組みや、食への関心を高めることができるような活動を年間通して行っていく予定です。生きていくうえで「食べる」ということは一生切り離すことができないものです。子どもたちと一緒に楽しみながら食育活動を行い、共に成長していきたいと思っています。

不思議な体験 幼保連携型認定こども園 きよめこども園



7年前に九州サイエンスラボの石橋一樹先生と出会い、先生の科学への情熱に感銘を受け、さっそく当園でも取り入れることにしました。

「紫外線ビーズ作り」では、外で紫外線を受けるとその強さで色が変わる特殊なビーズを使いストラップを作りました。また「大型シャボン玉体験」では巨大シャボン玉を作る実験と、実際に園児

が大型シャボン玉に入る体験をしました。その他にも、冬の時期にはおもちゃ入りの入浴剤を手作りし、お風呂に入れると体が温まりやすい炭酸泉を発生させたり、まるで魔法の世界に入り込んだような不思議な出来事に、子どもたちは目をキラキラさせて参加していました。



「おもしろかった！またやってみたい！」と笑顔で言ってくれる姿を見るたびに、次も何か新しい体験をさせてあげたいと思います。

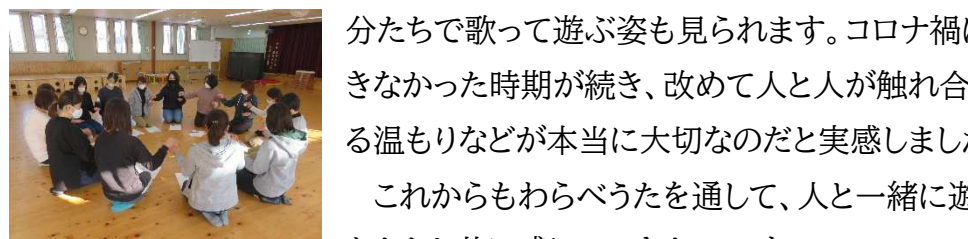
これからも子どもたちが科学の不思議さに出会い「なぜ？不思議！すごい！」の連発を体で体験してってもらえる様、今後も続けていきたいと思っています。



大人も子どもも わらべうた 幼保連携型認定こども園 つばめこども園



当園でわらべうたを取り入れるようになって約20年経ちます。わらべうたは日本各地に古くから伝わる伝承遊びで、短い歌の中には人々が生きてきた歴史・文化・知恵が込められています。メロディも伴奏を必要とせず、その場で歌える簡単なものから、何回か練習しなければ覚えられない歌など様々です。遊びは赤ちゃん向けの



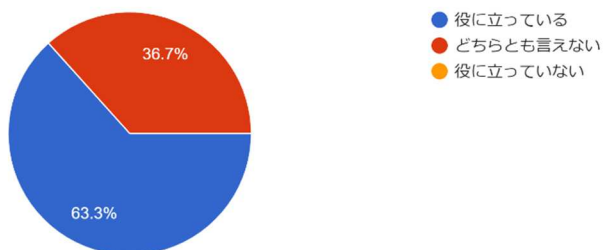
ふれあい遊びから、大人でも楽しめる身体を使った遊びなどバリエーションも多く、職員は月に一度わらべうた園内研修を行い、実際に私たち職員が遊んだわらべうたを日々の保育で子どもたちと一緒に楽しめるようにしています。子どもたちもわらべうたが大好きで、年長児になると自分たちで歌って遊ぶ姿も見られます。コロナ禍になり人と会うことすらできなかった時期が続き、改めて人と人が触れ合うことや、相手から伝わる温もりなどが本当に大切なのだと実感しました。

これからもわらべうたを通して、人と一緒に遊ぶ楽しさや温もりを子どもたちと共に感じていきたいです。

市保連だよりアンケート結果

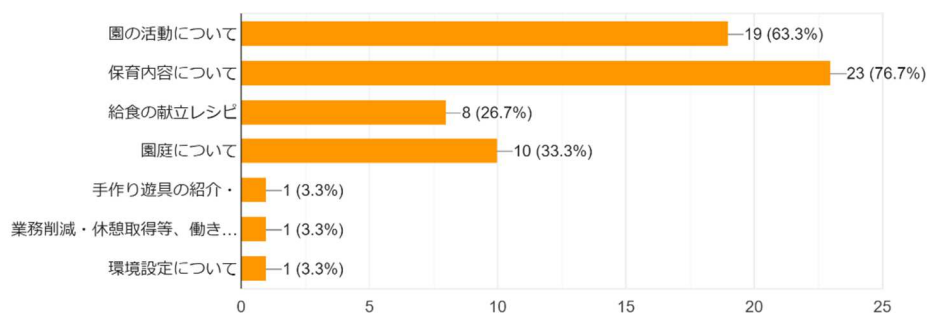
市保連だよりは役立っていますか？

30 件の回答



特集してほしい記事はありますか？（複数選択可）

30 件の回答



5月号の紙面で実施しました市保連だよりアンケートにご協力をいただきありがとうございました。

アンケートの結果をもとに 9 月号より要望が多かった記事を集めていきます。

いただいたご意見を参考に、より魅力的な紙面となるように検討していきたいと思います。



6月の予定



理 事 会	6 月 5 日(月)	熊本市国際交流会館 3F 国際会議室
園 長 会	6 月 19 日(月)	熊本市国際交流会館 6・7F ホール

ご結婚おめでとうございます

つぼみ保育園 令和 5 年 4 月 22 日 保育士 砂光 彩美 先生（旧姓：日隈）
五丁こども園 令和 5 年 7 月 16 日 保育教諭 早田 佳代子 先生（旧姓：桑本）

